

令和8年度 宮城県泉高等学校「志教育」年間指導計画

3つの視点			かかわる	もどめる	はたす	かかわる	もどめる	はたす	かかわる	もどめる	はたす	かかわる	もどめる	はたす						
各教科指導目標	国語	○	○	○	地理歴史	○	○	○	公民	○	○	数学	○	○	○					
	国語を的確に理解し、適切に表現して伝え合う力を高め、思考力や創造力を伸ばし、豊かな心情をもって社会と関わることのできる総合的な言語能力を養う。				自国及び各国の歴史や風土に対する確かな認識を基盤として、様々な場において自己実現が達成できるような資質を養う。				先哲の教えを利用して複雑な現代の社会の仕組みを考察し、他者を尊重し、主体的に社会に貢献しようとする公民的資質を養う。				数学的活動を通して数量や図形の意味を実感を持ってとらえたり、思考力、判断力、表現力を高め、様々な場面において論理的な思考力を育成する。				自然の現象やそのメカニズムについて考察し、科学的な見方や考え方を養い、様々な場面において論理的な思考や判断ができる資質を養う。			
	保健体育	○	○	○	芸術	○	○	○	外国語	○	○	○	家庭	○	○	○				
	健康と安全について意識の向上に努め、生涯にわたって運動に親しみ、安全に配慮することのできる人材を育成する。				芸術の幅広い活動を通して、芸術的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の芸術や芸術文化と豊かに関わる資質・能力を育成する。				英語を正確に理解し、自分の考えを適切に表現できる力を養うと共に、国際的な視野をもって、持続可能な社会の実現に向けて貢献できる資質を養う。				家族と家庭の意義、家庭と社会の関わりについて考え、生活に必要な知識と技術を習得し、男女が協力して家庭や地域の生活を創造する能力を養う。				情報に関する科学的な見方や考え方を養い、情報化社会の中での確かな判断や効果的な活用ができる力を育てる。			
学年共通						かかわる	もどめる	はたす	各学年指導目標											
指導内容	①身だしなみを整える		○	○	◎	1年	1 自ら考え、主体的に行動する姿勢を育てる。2 進路情報や自らの進路について思考する機会を提供し、適切な進路選択ができる力を育てる。3 家庭学習の定着を図らせるとともに、計画的に学習に取り組む姿勢を育てる。4 多様性を認め、他者を尊重する社会人としての基礎となる生活態度を育てる。													
	②挨拶の励行		◎	○	○		2年	1 社会の変化に主体的に対応し、中堅学年として果たすべき役割と責任を自覚した発言や行動ができるようにする。2 自分を知り、自分の特性を理解した上で、進路目標を明確にできるようにする。3 学習習慣を定着させ、さらなる基礎学力の定着と、進路目標を実現させるための応用力を育成する学習姿勢へと発展させる。												
	③学習習慣の確立		○	◎	○	3年		1 広い視野を持ち、最終学年として果たすべき役割と責任を自覚した発言や行動ができるようにする。2 自分を知り、自分の特性を理解したうえで、進路目標を達成できるようにする。3 計画的に学習する姿勢を促し、アウトプットを意識した大学入試に対応できるだけの学力向上を目指す。4 多様性を認め合い、お互いを尊重できる心の力をより一層育てる。												
	④自己表現力の向上		○	◎	○															
	⑤校内美化の励行		○	◎	◎															
	⑥保護者や地域社会との連携		◎	○	○															
指導内容						ねらい			指導教科等			実施時期			時数			かかわる	もどめる	はたす
1年	外部講師による講話(進路)		進路選択に関する講話や地域課題のために活躍している社会人の講話を聞き、自らの在り方・生き方について考える。			特別活動 総合的な探究の時間			9月			2			○	◎	○			
	外部講師による講話(探究活動)		探究活動について収集・整理した情報に基づいた意見文の書き方や、問いの立て方に関する講話により、探究活動の充実化を図る。			特別活動			10月、2月			2			○	◎	○			
	社会人講話		社会人の方々の話を聞くことで、職業だけでなく、様々なものの見方や考え方についての理解を深める。			特別活動			11月			2			○	◎	○			
	オープンキャンパス参加		大学見学を行うことで、大学の学問分野について理解を深め、次年度の探究学習活動や将来の進路選択につなげる。			特別活動			7月			3			○	◎	○			
	課題解決に関する探究活動		魅力ある地域にするため、自分たちができていることを考えて提案を行う。中学生対象の学校説明会で成果を発表する。			総合的な探究の時間			6~9月			7			◎	○	◎			
2年	課題解決に関する探究活動		自分の興味関心からテーマを設定し、実地調査や文献調査等を通じて探究活動を行う。積極的に校外へ成果を発信をする。			総合的な探究の時間			4~2月			20			◎	○	◎			
	進路研究		進路について必要な情報を主体的に収集及び整理することにより、進路希望達成に向けて準備する。			特別活動			5月、10月			3			○	◎	○			
	外部講師による進路講話		高校生活の後半に入る時期に、講話を通して、進路実現に向けて何をすべきか主体的に考える。			特別活動			12月			2			○	◎	○			
	社会人講話		社会人の話を聞くことで、職業だけでなく様々なものの見方や考え方についての理解を深め、進路についてより具体的に考えるための機会とする。			特別活動			11月			2			○	◎	○			
	修学旅行関係(事前学習・報告会)		生徒が主体的に計画を立てながら、見学先への見識を深め、自ら学ぶ意欲を高める。修学旅行後には後輩に向けて学習の成果を発表する。			特別活動			5~11月			4			○	○	◎			
3年	修学旅行		我が国の伝統文化や歴史遺産などを実際に見学することで、自らの見聞を広げる機会とする。			特別活動			12月			6			○	○	◎			
	課題解決に関する探究活動		2年生で取り組んだ探究活動をさらに深め、これまで取り組んだ成果を論文やレポートの形にまとめる。			総合的な探究の時間			4~2月			9			◎	○	◎			
	外部講師による講話(進路・探究)		進路希望達成のために必要なことを講話を通して確認し、自らのキャリア形成についての意識を高める。			特別活動 総合的な探究の時間			5月、11月			2			○	◎	○			
	外部講師による講話(主権者教育・消費者教育・金融教育)		主権者や消費者として身に付けておくべきことを講話を通して学ぶ。また、講話を通して金融リテラシーを高める。			特別活動			6~7月			3			○	◎	○			
	進路研究		進路について必要な情報を主体的に収集したり整理したりすることにより、進路希望達成に向けて準備する。			総合的な探究の時間			5~7月			3			○	◎	○			
											合計時数		70							